

# 北海道議会時報

第32卷第2号



(表紙写真説明)

## コウライキジ

アジア大陸に広く分布し原野、森林の縁などに生息するキジ科の一種。雄は頭頸部の緑色を除き全体的に褐色で頸部に白輪がある。雌は雄に比べ黄褐色に一面黒斑の入った地味な色をしている。

道内では、わが国固有のキジは生息しておらず、昭和5年頃に朝鮮半島あたりから猟鳥として移入し、日高地方に放鳥され、増殖したコウライキジが主に道南、道央に見られる。写真は下野幌付近のもの。

(写真提供—道生活環境部環境影響審査課  
村野 紀雄氏)

委員会の動き

議会運営委員会	1
常任委員会	1
特別委員会	11
石炭対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
石油緊急対策特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	13
都道府県議会議員共済会	13
10都道府県議会議長会	13

資 料

提出案件の処理状況	14
議員提出案件の件名及び処理結果一覧	15
請願・陳情の件名及び処理経過一覧	16

1・2月のメモ

# 議 会 日 誌



## ▶ 1月

- 9日 (水) 石炭対策特別委員会
- 10日 (木) 総務、厚生、文教林務、決算特別各委員会
- 11日 (金) 商工労働、農務、建設、農地開発、水産各委員会
- 29日 (火) 決算特別委員会

## ▶ 2月

- 4日 (月) 厚生、農務、農地開発、水産、石油緊急対策特別各委員会
- 5日 (火) 総務、厚生、商工労働、建設、文教林務、公害対策特別各委員会
- 12日 (火) 厚生委員会
- 14日 (木) 農務委員会
- 15日 (金) 総務委員会
- 19日 (火) 議会運営委員会
- 20日 (水) 決算特別委員会

## 常任委員会



## 議会運営委員会

○2月19日(火) 午後1時5分、議会運営委員会室において開議、午後1時10分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員石崎金作氏(宗谷支庁選出、第13期、1月8日)、同藤枝義見氏(網走支庁選出、第15期～第16期、1月12日)、同千葉軍治氏(釧路支庁選出、第16期、2月4日)の逝去について報告。
- ② 第1回定例会の招集期日について、2月26日とすることを了承。会期については、33日間とすることを異議なく決定。
- ③ 総務部長から、第1回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 第1回定例会の日程について、次のとおりとすることに決定。

## ▽ 第1回定例会日程

2月26日 本会議(道政執行方針、提案説明、教育行政執行方針)

2月27日～3月3日 休会

3月4日・5日 本会議(代表質問)

6日～8日 同(一般質問)

9日・10日 休会

11日 本会議(一般質問、予算特別委員会設置)

12日 同(補正予算議決)

13日～27日 休会

28日・29日 本会議

- ⑤ 代表質問について、順位は、自民、社会、道政、公明の順とすることに決定。
- ⑥ 議長が発言者を指名する際の呼称方法について、発言者の職氏名を呼称することに異議なく決定。(例、知事堂垣内尚弘君、○○委員長○○○君)

## 総務委員会

○1月10日(木) 午後2時38分、第5委員会室において開議、午後3時17分散会

委員長 伊藤 知則(自民)

## 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した国費予算に関する中央折衝並びに過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望についての中央折衝経過を口頭報告。
- ② 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、昭和55年度国費関係予算の内容についてそれぞれ説明。
- ③ 小田原要四蔵委員(社会)から、道の行政改革に関し、関係市町村、関係団体との具体的な協議内容と結論が出ない場合の処置及びこれら団体からの陳情、要望等の状況、関係団体の具体例、職員団体に対する考え方、環境変化を行政改革の基準とする判断材料の有無等について質疑及び意見があり、総務部長から答弁。

○2月5日(火) 午後零時3分、第5委員会室において開議、午後5時45分散会

委員長 伊藤 知則(自民)

## 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した行政改革に係る関係出先機関の現地調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長から、道職員の勤務時間等の取扱いについて説明の後、  
小野秀夫委員(道政)から、道警職員の現行勤務時間体制変更の有無、道の執務時間の決め方と勤務時間の概念、執務整理時間を設けた理由、執務整理時間の特例扱いに対する考え方、休憩時間の設定に対する自治省と道の考え方との関連等について  
(関連して中田繁夫委員(社会)から、勤務時間等の労使間取り決めについての変更のあり方と道民への説明のしかたについて)

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び警察本部長から答弁。

- ③ 総務部長から、新過疎法について説明。
- ④ 小田原要四蔵委員（社会）から、行政改革に関し、道の各部から関係方面へ通知した文書の表現についての見解、関係出先機関の意見反映の有無と意見聴取のあり方、中島スポーツセンターの民間へ移管後の問題点、東京事務所の連絡担当部門縮小と室の新設の考え方、道印刷所、税務出張所及び総合経済研究所等の廃止に対する道の考え方について

（関連して、中田繁夫委員（社会）から各部の関係方面への通知文書の撤回方について）  
質疑、意見及び要望があり、総務部長、生活環境部長及び開発調整部長から答弁の後、

中田繁夫委員（社会）から、道民の意向聴取による行政改革の検討方について要望があり、理事会開催のため、午後5時15分休憩、午後5時40分再開し、直ちに散会。

#### 本日聴取した陳情

富良野税務出張所の存続について

富良野市長

○2月15日（金） 午後零時5分、第5委員会室  
において開議、午後5時3分  
散会  
委員長 伊藤 知則（自民）

#### 一般議事

- 総務部長から、行政改革に係る通知文書の取り扱いについて発言の後、  
塚本肇委員（社会）から、道立病院の設置根拠、道立病院の町立移管についての知事名文書と条例等との関連、条例改正の考えと議会提案の時期、町立移管についての通知文書の趣旨、酪農検査所などの廃止についての通知文書の趣旨と再度出された文書における新聞報道の明示及び訂正文としての当否、廃止についての高圧的態度の是正の方等

中田繁夫委員（社会）から、再度出された農務部長名の文書と委員会審議との関連、前回の委員会指摘についての関係部との協議内容、通知文書の受けとめ方、議会で改革案が否決された場合の措置、文書の再訂正方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

小田原要四蔵委員（社会）から、総合経済研究所の廃止に関し、行政の簡素化についての基本認識、総研を維持してきた理由、本道の生活環境及び経済情勢についての他府県との相違点、総研における研究を大学、民間に委託可能とする根拠とその見通し及び大学、民間の研究機関の設置目的との関連性、道独自の研究機関の必要性、道発展計画に伴う行政需要への対応等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁の後、塚本肇委員（社会）から、議事進行発言があって、午後3時3分休憩、午後4時7分再開、開発調整部長から、休憩前の小田原要四蔵委員（社会）の質疑に対する答弁の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、総合経済研究所の廃止に関し、道発展計画に伴う行政需要の見通し、行政需要の増加に対する対処姿勢、委託側からの総合経済研究所の存続要望についての考え方、総研の設立目的と実績及び廃止の理由、委託の困難性、総研の従来の研究と新設課の調査との相違点等、婦人相談所の統合及び道印刷所の廃止に関し、婦人行動計画における婦人相談、婦人保護の機能強化に対する考え方及び婦人相談所の廃止との矛盾、道印刷所を民間に委託した場合のメリット及び外注した場合のコスト面の比較等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び総務部長から答弁の後、理事会開催のため暫時休憩、再開後、委員長から今後の取り扱いについて発言。

#### 厚生委員会

○1月10日（木） 午後2時39分、第9委員会室  
において開議、午後4時33分  
散会  
委員長 宇野 真平（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、道内及び道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等につ

いては、委員長に一任することとした。

- ② 委員長から、さきに実施した昭和55年度国費予算に関する中央折衝の経過について報告。
- ③ 民生部長及び衛生部長から、昭和55年度国費関係予算の概要について説明。
- ④ 衛生部長から、赤痢の集団発生の状況と措置について報告。
- ⑤ 山家勇委員(社会)から、機構改革に関し、改革案の提案の考え方と作成機関、関係市町村及び関係団体等との協議状況、道発展計画及び社会福祉長計との関連、2次的行政改革の考え等

保格博夫委員(社会)から、自治医大一条教授の道立病院経営分析書と行政改革との関係及び道の考え方、地域医療体制に対する考え方と地域センター病院の機能及び行政改革との関連、道立病院の医師の充足状況、道立から移管の千歳市立病院の経営状況、無医地区に対する地域センター病院の機能、道立紋別病院の通信医療システムの現状、地域住民の要求に対する対応、寿都町、増毛町及び松前町における特別養護老人ホームの構想と実態、道立病院の町村立移管の撤回方等

輪島幸雄委員(社会)から、道立病院の町村立移管による財政的メリット、道内国保病院の経営実態、行政改革のビルド面の具体的明示等について

質疑及び意見があり、民生部長及び衛生部長から答弁。

#### 本日聴取した陳情

看護学生の修学資金増額等に関する件

全日本看護学生自治会連合北海道ブロック  
北海道学生寮自治会連合代表

○2月4日(月) 午後3時28分、第9委員会室  
において開議、午後6時13分  
散会  
委員長 宇野 真平(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内厚生関係施設調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 衛生部長から、食品添加物である過酸化水

素について報告の後、

保格博夫委員(社会)から、発がん性物質を食品中の残留がないことによって食品添加物として認めることに対する見解、過酸化水素の使用中止についての業者への指導の継続方、道内の過酸化水素の使用実態と使用中止の見通し、国の取扱いとのそごに対する対処方針、発がん性物質を食品添加物として存続させることに対する所見、使用表示についての見解、学校給食パンに係わる臭素酸カリウムの発がん性の実験状況と使用実態及び取扱いに対する指導のあり方等について  
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

- ③ 民生部長から、特別生活資金貸付事業の実施状況について報告の後、

山家勇委員(社会)から、福祉灯油の確立方、返済不能者に対する措置及び返済の取扱いについての考え方等

保格博夫委員(社会)から、特別生活資金貸付制度の見直しの必要性

伊藤武一委員(公明)から、特別生活資金貸付制度の今後の方向及び弾力的な運用方、福祉灯油の実施市町村に対する道費助成の考え等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

- ④ 保格博夫委員(社会)から、(1) 社会福祉法人長沼陽風会の特別監査に関し、監査の理由と監査による問題点、道の改善命令に対する報告書の提出状況、理事長の就任に係わる法人への指導状況、前施設長の取扱いに対する理事会決定と道の指導との関連等 (2) 行政改革に関し、当初計画による実施の有無及び実施にあたっての行政のあり方

輪島幸雄委員(社会)から、行政改革に関し、保健医療に係わる道保健医療対策協議会の答申に対する知事の所信表明の有無、今回の道立病院の移管問題と地域医療のあり方及び基本計画との関連、地域における国保病院等の医師の不在、地域偏在及び財政問題等の解消策、過疎地の医療上の問題点と道の対応等について、

質疑、意見及び要望があり、民生部長及び衛

生部長から答弁。

○2月5日(火) 午前10時20分、第9委員会室  
において開議、午後零時4分  
散会  
委員長 宇野 真平(自民)

#### 一般議事

○ 輪島幸雄委員(社会)から、行政改革に関し、北海道保健医療基本計画と昭和46年の北海道地域医療に関する答申との関係、同答申に基づく施策の内容、広域的市町村立病院に対する助成措置と今後の取り組み方針、医療施策の進め方、医療の向上に対する道の具体的な取り組み、医師の確保に対する道の対処姿勢と具体策、社会福祉法人の指導監督の専掌課設置についての経過と設置の目的、民間施設の実態把握及び指導の充分性と今回改革案との関連、今回改革案の再考の必要性等

保格博夫委員(社会)から、行政改革に関し、道立病院の町移管と赤字との関連、改革案に対する副知事見解と部長見解の相違、財政面の検討の有無、改革に伴う昭和55年当初議会への提出予定案件と議会对応のあり方、55年度の改革実施案、精薄児施設廃止の適否、和光学園の四つ葉学園への移譲に対する道の法人への打診の有無と検討状況及び医療体制のあり方との関連、静和園の民間移譲構想の有無等について

質疑及び意見があり、衛生部長及び民生部長から答弁。

山家勇委員(社会)から、保格博夫委員(社会)の発言に対する部長答弁の取扱いについて発言があり、委員長から理事会で協議の旨応答。

○2月12日(火) 午後2時7分、第2委員会室  
において開議、午後5時38分  
散会  
委員長 宇野 真平(自民)

#### 一般議事

① 衛生部長から、道立病院についての新聞報道について報告の後、

輪島幸雄委員(社会)から、道立病院の医師確保のための町医療対策協議会の経費に対

する町の負担義務、医師確保に対する道費負担の範囲、町費負担の是否と道の責任、他の道立病院における地元負担の実態と調査の有無、松前町が多額負担をした背景と負担について承知の有無、松前病院の医師充足率に対する見解等

保格博夫委員(社会)から、松前町医療対策協議会の54年度の医師確保に対する財政措置、53年度における他の医療対策協議会の財政措置、松前病院の医師公宅の備品等に対する町費負担の事実経過と町移管問題との関係、道立診療所における類似例の有無、55年度における具体的な医師確保対策等について質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

② 山家勇委員(社会)から、行政改革に関し、道内の無医地区数、医師確保の見通し、夕張療養所廃止後の地域医療対策、道立病院の55年度移管についての目途、移管問題について関係市町村、団体の了解の有無等

保格博夫委員(社会)から、3道立病院の移管についての関係町、関係団体との協議、決定の目途、55年度実施に対する作業の目途、第1回定例会に関係条例案、予算案を提案する考えとその見通し、北海道保健医療対策協議会の答申による全体構想と今回の移管問題との関係、道立病院管理室から知事名で出された行政改革に関する文書の趣旨等

(関連して輪島幸雄委員(社会)から、道立病院の移管に関する条例案の第1回定例会提案を一応の目途とした理由)

伊藤武一委員(公明)から、今回の行政改革におけるビルド面の具体的な考え方、道立病院の新設についての検討内容、道立移管を希望している市町村立病院名、ビルド面の計画の提示時期等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

③ 保格博夫委員(社会)から、行政改革に関し、民生部関係施設の統廃合についての基本的認識、和光学園についての小樽市議会の決議と道の考え方とのそごに対する見解及び心身障害者対策との関連、民間移譲についての協議状況と道の見解、もなみ学園を廃止し自閉症児施設を新設する考え方と厚生省の構想との関係、もなみ学園、静和園の機能充実の

必要性、婦人相談所の役割りと存続に対する考え方、内部障害者更生指導所の統廃合について関係者の意見聴取など対応のしかた等について

(関連して輪島幸雄委員(社会)から、和光学園など地方公共団体の施設の廃止と社会福祉事業法第4条との関連について)

質疑及び意見があり、民生部長から答弁。

- ④ 輪島幸雄委員(社会)から、道立病院を医療法人へ移管する案の有無、今回の行政改革についての関係団体等との対応状況、道から町村移管後にさらに民間へ移管する考えの有無、施設入所者の出身市町村との協議の有無、市が道と同様に移管を実施する場合の対応、改革の再考方等

保格博夫委員(社会)から、道民の意向を反映した道政の必要性、委員会審議の行政への反映方等について

(関連して山家勇委員(社会)から、今回の行政改革と社会福祉長期計画の目標との関連について)

質疑、意見及び要望があり、衛生部長及び民生部長から答弁。

#### 本日聴取した陳情

「スモン患者の早期救済」について  
北海道スモンの会会長

### 商工労働委員会

○1月11日(金) 午後1時49分、第8委員会室において開議、午後2時42分散会  
委員長 池島 信吉(社会)

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した電気料金改定及び昭和55年度国費予算に関する中央折衝の概要について報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、電気料金改定に関する中央折衝の実施及び道内における商工労働事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、

昭和55年度国費関係予算の概要について説明。

- ④ 労働部長及び商工観光部長から、出先機関の機構改革について報告の後、  
関根建二委員(社会)から、小樽労政事務所等の統廃合に伴う行政能率及び職員の定数の考え方、東京事務所企業誘致対策室についての考え方について  
質疑があり、労働部長及び商工観光部長から答弁。
- ⑤ 関根建二委員(社会)から、ガス料金の値上げの実情と道の指導について  
質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

○2月5日(火) 午後2時22分、第8委員会室において開議、午後3時2分散会  
委員長事故のため  
副委員長 中崎 昭一(自民)

#### 一般議事

- ① 副委員長から、さきに実施した電気料金改定に関する中央折衝及び道内における商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長から、北海道電力㈱に係る電気料金改定認可と北海道瓦斯㈱のガス料金改定申請について説明。
- ③ 商工観光部長から、北海道商工業振興審議会の本道における中小工業の振興方策に関する答申について説明。
- ④ 商工観光部長から、昭和54年度上期における本道の観光客入込み調査の概要について説明。
- ⑤ 労働部長から、昭和54年版「北海道の労働経済」の概要並びに最近における道内の雇用失業情勢について説明。

### 農務委員会

○1月11日(金) 午後2時45分、第7委員会室において開議、午後6時15分散会  
委員長 武部 勤(自民)

## 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度農業関係国費予算等に関する中央折衝の経過の概要について報告。
- ② 農務部長から、昭和55年度農業関係国費予算の主要事項について説明。
- ③ 農務部長から、行政改革に関し説明の後、岡本栄太郎委員（社会）から、各農試整備の全体計画未策定の現段階で行政改革を実施することの妥当性、全体計画の策定期と前期計画との関連、3試験地の廃止時期と受け皿の具体策、整備計画策定に際し幅広い意見聴取方、地域の実態に即応した計画の策定方、馬鈴しょ原種農場の廃止時期と地域での役割の重要性、酪農検査所の廃止時期と受け皿への配慮方  
神本三也委員（社会）から、試験研究機関の基本的なあり方、職員団体に対する副知事発言と部長発言との差異、55年度予算要求と今次行政改革との関連、新得畜試の整備の考えと根釧農試との関連、酪農情勢が厳しい中で酪農検査所を廃止することの当否、財政面での問題点及び受け皿の具体策とスケジュール、検討委員会の構成メンバー  
湯田倉治委員（道政）から、従来の農試の機能発揮の十分性と今次行政改革との関連  
吉野之雄委員（社会）から、各試験地の試験目的の達成状況との関連  
佐藤静雄委員（自民）から、試験地、試験圃場の新設希望への対応について  
質疑及び意見があり、農務部長から答弁。
- ④ 農務部長から、FRPサイロに関し報告の後、  
湯田倉治委員（道政）から、材料の見直し検討と道内製品の使用方法  
岡本栄太郎委員（社会）から、安全性の確認時期、55年度以降補助対象の見通について  
質疑及び要望があり、農務部長から答弁。
- ⑤ 委員長から、昭和55年度水田利用再編対策に関し、中央折衝の実施並びに道外における農業事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑥ 岡本栄太郎委員（社会）から、当面する水

田再編対策に関し、本道として返上できない場合の諸対策の必要性、本道農業の将来展望、面積ペナルティ上積み分を計画加算金の対象とすることの不当性と道の対策、56年度以降の対策、道の基本的姿勢の遅延理由と国への積極的な働きかけ

工藤啓二委員（公明）から、農相に対する知事の直訴状の文書内容、1月9日の道水田総合利用対策協議会に知事、副知事が出席しなかった理由

高橋正四郎委員（自民）から、乳価決定時期を控え酪農専業地帯に対する十分な対応策の検討方について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

## 本日聴取した陳情

昭和55年度転作目標面積の配分等について  
北海道農民連盟書記長  
昭和54年産玉ねぎ対策について  
北海道玉ねぎ振興協会会長

○2月4日（月） 午後3時20分、第7委員会室  
において開議、午後5時7分  
散会  
委員長 武部 勤（自民）

## 一 般 議 事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度水田利用再編対策に関する中央折衝の経過の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、昭和55年度畜産物価格等に関し、要望書を関係先へ提出することについては、異議なく決定。案文については委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、昭和55年度畜産物価格等に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 農務部長から、昭和55年度転作等目標面積及び昭和55年産米事前売渡申込み限度数量の支庁別配分に関し報告の後、  
吉野之雄委員（社会）から、1月22日の道水田総合利用再編対策協議会が非公開で行われた理由及びその経緯、各支庁に対する転作面積の配分と本道農業の方向づけに対する考

え方、農林水産省に設置された北海道農業検討会に対する道の対応姿勢、道産米の品種改良の必要性、稲作づくり等新年度予算に対する道の考え方、副知事発言による本道の規模の利益ということの基本的考え方、北海道農業の確立対策等11項目の要望に対する農林水産省の反応、自主流通米と食管制度との関連についての考え方、今回の配分に対する関係市町村への対応状況等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

湯田倉治委員（道政）から、今日の農業事情の重大性にかんがみ、今後の本道農業確立に向けての道と道議会による中央折衝の必要性について発言があり、委員長から応答。

- ⑤ 神本三也委員（社会）から、学校給食用牛乳の300cc飲用対策、余り乳についての現状認識と対策についての道の考え方、北海道農業検討会の性格と内容及び道の対応姿勢について  
質疑があり、農務部長から答弁。

- ⑥ 神本三也委員（社会）から、行政改革に関し、道立総合経済研究所の研究成果と施策への利用状況と今後の考え、馬鈴しょ原種農場の廃止についての地元の態度と廃止の当否、酪農検査所の廃止について本委員会での説明前に関係市町村に通知した真意、品質検査に対する現状認識、検査の条例廃止後の措置、廃止にあたっての規格調査会の意見の取り扱い等について

質疑があり、理事会開催のため午後5時休憩、午後5時6分再開し、委員長から、議事の都合により、神本三也委員（社会）の質疑に対する答弁は、次回委員会で行うこととした旨発言。

○2月14日（木） 午後1時7分、第7委員会室において開議、午後4時3分散会

委員長事故のため

副委員長 渋谷 澄夫（社会）

#### 一般議事

- 農務部長から、2月4日の委員会における神本三也委員（社会）の質疑に対し答弁の後、神本三也委員（社会）から、(1) 道立総合

経済研究所の研究成果の活用についての考え等 (2) 馬鈴しょ原種農場存続の必要性、地元との協議の状況、廃止の場合の跡地の活用方法等 (3) 酪農検査所の廃止について、委員会説明前に関係方面に文書通知した真意と責任、酪農の廃止についての現状認識、検討委員会の検討方向と構成メンバー、廃止について理解を得た企業、団体名、条例廃止後の検査のあり方等 (4) 農業試験場整備の基本方向、前期計画の策定期間と予算措置、十勝における畑作酪農試験研究の必要性等

岡本栄太郎委員（社会）から、酪農検査所の廃止について、関係方面に文書通知した真意と条例との関連、廃止後の検査のあり方、今日の酪農情勢の中で行革の一環として廃止することの妥当性等

湯田倉治委員（道政）から、道の酪農検査所における検査の方法等について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長及び酪農草地課長から答弁。

## 建設委員会

○1月11日（金） 午後1時58分、第4委員会室において開議、午後2時59分散会

委員長 水沼 徳一郎（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度国費関係予算に関する中央折衝の経過について報告。

- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和55年度国費予算の概要について説明の後、

湯本芳志委員（社会）から、公営住宅問題についての考え方と今後の公営住宅の方向づけ及び道の適確な取り組み方

萩上元春委員（社会）から、国土縦貫自動車道に関し、函館、室蘭間の整備計画と早期着工の促進について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長及び土木部長から答弁。

- ③ 委員長から、開発予算決定に伴う中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施

時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ④ 住宅都市部長から、住宅都市部所管に係る行政改革の概要について説明の後、

湯本芳志委員（社会）から、今回の行政改革の対象を出先機関、研究機関とした理由、本庁機構の見直しの必要性

萩上元春委員（社会）から、住宅団地開発事務所の廃止に関し、過去において全道庁労働組合と住宅都市部長間で存続確認の有無、廃止による今後の住宅団地造成の考えと住宅政策との整合性、廃止後の職員の労働条件、配置等についての考え方、本庁に課を新設した場合の職員配置数等について

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁。

- 2月5日（火） 午後1時27分、第4委員会室において開議、午後2時8分散会

委員長 水沼 徳一郎（自民）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度国費関係予算に関する中央折衝の経過について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 住宅都市部長及び宅地課長から、さきの本委員会において、佐々木利昭委員（自民）から発言のあった篠路拓北団地の開発計画について説明の後、

佐々木利昭委員（自民）から、下水終末処理場の設置に関し、茨戸川の上流に設置することの是非及び再調査による検討方

湯本芳志委員（社会）から、住宅計画の内容及び分譲価格等について

質疑及び要望があり、宅地課長から答弁。

- ③ 土木部長から、静内、中札内線（仮称）の環境影響評価について説明の後、

湯本芳志委員（社会）から、当該道路計画と国定公園の指定に関し、現在までの処理状況と指定の見通し、開発局の打診に対し国定公園指定前に回答したことの適否及び関係部との協議状況、開発局の社会経済調査、自然環境の現況調査の経緯と当該調査資料の提出方等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答

弁の後、

藤井虎雄委員（社会）から、本委員会として開発局に対する事前調査資料の提出の申し入れ

湯本芳志委員（社会）から、開発局の事前調査資料の議会審議上の必要性等について発言があり、委員長から応答。

## 農地開発委員会

- 1月11日（金） 午後1時50分、第3委員会室において開議、午後2時1分散会

委員長 高田 忠雄（道政）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について口頭報告。

- ② 農地開発部長から、昭和55年度農業基盤整備関係国費予算の概要について説明の後、

笠島保委員（社会）から、直轄負担金の北海道特例削減に伴う道費の負担関係について質疑があり、農地開発部長から答弁。

- ③ 委員長から、昭和55年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 2月4日（月） 午後3時9分、第3委員会室において開議、午後3時15分散会

委員長 高田 忠雄（道政）

#### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 農地開発部長から、昭和54年度道営工事の第3・四半期における発注実績について説明。

散会

委員長 小笠原 孝（自民）

## 水産委員会

○1月11日（金） 午前11時53分、第6委員会室  
において開議、午後4時28分  
散会  
委員長 小笠原 孝（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度水産関係国費予算に関する中央折衝の経過について報告。
- ② 水産部長から、昭和55年度水産関係国費予算の概要について説明。
- ③ 水産部長から、噴火湾におけるホタテ貝の自主規制解除について説明。
- ④ 委員長から、さきに実施した道外水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 水産部長から、道漁連の不祥事について説明。
- ⑥ 長岡寅雄委員（社会）から、水産試験場の機構改革に関し、改革の理由とその方向及び地元に対する対応状況、重点集約化による地域要求への対応、現状での拡充整備方  
岩崎守男委員（社会）から、機構改革案の作成サイド、5水試制の目的と改革との関連及び将来展望、発展計画と改革案との関連、水産試験場の規模縮小の是非及び現地調査による対応の必要性  
川崎守委員（共産）から、水産物検査廃止後の措置についての協議状況、自主格付による漁民への影響、廃止後の検査方法及び現加工検査員の配転方法、加工部門集約化の根拠、今後における組織、機構及び予算についての考え方、改革内容の確定時期等について  
（関連して、滝沢勉委員（自民）から、漁民からの水産物検査の存続要望に対する見解について）  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○2月4日（月） 午後3時37分、第6委員会室  
において開議、午後5時30分

### 一般議事

- ① 水産部長から、韓国漁船の操業問題に係わる日韓水産庁長官会談の結果について報告の後、  
長岡寅雄委員（社会）から、本問題の解決に対する韓国側の姿勢の変化、資源枯渇などに伴う要請行動の強化、西日本との分離による問題解決方、漁民大会についての見解等について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。
- ② 水産部長から、道漁連の不祥事について報告の後、  
岩崎守男委員（社会）から、空売りの原因究明による再建指導の必要性、本事件に対する道の対処状況と調査の目途及び調査方針、水産庁の調査に対する基本姿勢、再建を重点とすることの可否、漁連の産地市場での買い取りと不祥事との関連性、水揚げを全量市場に上場しない体質の問題点、産地市場の管理体制の問題点等について  
質疑及び意見があり、水産部長から答弁の後、  
岩崎守男委員（社会）から、本事件について漁連責任者の本委員会への出席並びに説明聴取について発言があり、委員長から理事会で協議、決定する旨応答。ついで、  
川崎守委員（共産）から、取引契約と経理及び管理体制の実態、漁連の員外取引きの目的と漁協の基本活動との関連、本事件から得た教訓、再建にあたっての考え方、産地市場における漁連の買い取りが弱小加工業者に与える影響等について  
質疑があり、水産部長から答弁。
- ③ 水産部長から、水産試験場の重点集約化の方向と実施の考え方について報告の後、岩崎守男委員（社会）から、本件に対する質疑の時期について発言。
- ④ 委員長から、さきに実施した道外水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 川崎守委員（共産）から、奥尻町の核燃料再処理工場誘致の実情と対処姿勢及び内容把

握による次回委員会での報告方

長岡寅雄委員（社会）から、カマボコの加工に伴う過酸化水素の使用実態と道の指導状況等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

## 文教林務委員会

○1月10日（木） 午後2時35分、第10委員会室  
において開議、午後3時5分  
散会

委員長 熊谷 克治（社会）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和55年度国費予算に関する中央折衝の経過の概要について口頭により報告。
- ② 教育長、林務部長及び学事課長から、昭和55年度文教林務関係国費予算の概要についてそれぞれ説明。
- ③ 林務部長から、北海道森林組合連合会及び湧別町森林組合の再建問題等について経過報告。

### 本日聴取した陳情

養護学校高等部早期開校について

空知生活と健康を守る会岩見沢障害者部  
石田ルミ江

美唄養護学校の機能充実について

岩見沢市 岡田 民江

○2月5日（火） 午後2時20分、第10委員会室  
において開議、午後3時45分  
散会

委員長 熊谷 克治（社会）

### 一般議事

- ① 委員長から、北海道教育長期総合計画審議会委員に正副委員長を推せんすることをはかり、異議なく決定。
- ② 教育長から、昭和55年度公立高等学校入学志願状況について説明。
- ③ 米村邦敏委員（社会）から、(1) 総合経済研究所の機構改革案に関し、総研の林業行政上の調査、研究の成果に対する評価と行政へ

の反映状況 (2) 湧別町森林組合問題に関し、再建計画及び経過、関連企業倒産の実態及び従業員の再雇用に対する考え方、森林組合育成についての対処策、地域住民、道民の不信感をなくするための対策について  
質疑があり、林務部長から答弁。

橋浪蔵委員（道政）から、(1) 青少年の非行問題に関し、低年齢化、女子非行増加の実態、非行の原因と非行防止についての地域対策の必要性 (2) 教育庁職員の勤務時間の取り扱い

本間喜代人委員（共産）から、(1) 公立高校の授業料値上げに関し、授業料の値上げに対する教育長の見解と道に対する対応姿勢、定時制の授業料据え置の必要性 (2) 小規模高校の修学旅行付添旅費の改善方 (3) 可動式屋内ステージの使用実態と危険性の解消方 (4) 釧路養護学校のスクールバスの増車要請に対する対応状況について  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

### 本日聴取した陳情

私学助成問題について

北海道私立学校教職員組合 笹田 実  
北海高等学校 P T A 松木美登里

# 特別委員会

## 石炭対策特別委員会

○1月9日(水) 午後2時20分、第8委員会室  
において開議、午後4時54分  
散会

委員長 工藤 万砂美(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した石炭鉱業安定のための需要確保等及び昭和55年度石炭関係国費予算等に関する中央折衝並びに産炭地域6団体連絡協議会出席の概要について報告書及び口頭により報告、異議なく了承。
- ② 商工観光部長及び労働部長から、昭和55年度石炭関係国費予算の概要について説明。
- ③ 委員長から、炭価引上げ問題に関する中央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員及び要望案文等については、委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、道内炭鉱の現状と今後の課題等について、石炭協会道支部等との懇談会の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、出席委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 藤井虎雄委員(社会)から、北電の昭和55年石炭消費予定量及び石炭引取量に対する道の考え、苫東厚真1号機と内陸火発の消費量との関連、石炭引取量の減少と重油消費量の増加に対する道の指導、石炭鉱業対策専門委員会による検討と新しい石炭政策を国へ提言する考え、北電の石炭専焼火発に対する立地点等の確認等

山家勇委員(社会)から、炭鉱離職者の滞留状況とその対策、炭鉱における定年延長の問題に対する道の考え方、再就職者雇用促進事業団宿舎への入居の緩和、石炭鉱業に対する現状認識、通産局の山元事業所調査に対する道の事前対応方、現在の貯炭の状況、北電の石炭引取量、北電の石炭専焼火発立地計画と今後の見通し、原発の本道導入に対する見解、道東・道北地域における北電の電源開発計画について次回委員会での説明方、コールセンター導入についての経過と建設年次及び事業主体、新規施業案に対する道の対応等

宇川源吉委員(自民)から、原発の本道導入に係わる北電の立地計画の把握、指導の必要性

伊藤武一委員(公明)から、北電の石炭専焼火発に係わる道東火発の現在までの経過と見通し及び北電の長期計画等

湯田倉治委員(道政)から、北炭の操業実態に対する打開策、新鉱開発の実現可能性及び沈粉と木炭の混合燃料開発の考え等

岩崎守男委員(社会)から、石炭政策見直しに対する道の対応、道東火発に関連して北電に対する道の対処方針及び立地点の選定期等について

質疑及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

## 公害対策特別委員会

○2月5日(火) 午後1時13分、第2委員会室  
において開議、午後2時15分  
散会

委員長 和田 勝之(自民)

- ① 生活環境部長から、昭和55年度公害関係国費予算について説明。
- ② 生活環境部長から、苫小牧地方環境監視センター(仮称)の開設について説明。
- ③ 環境管理課長から、公害防止推進計画の策定について、環境影響審査課長から、環境影響評価条例に関する本年度の施行状況について、公害対策課長から、最近における水質監視についてそれぞれ報告。
- ④ 委員長から、さきに実施した道内、道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ⑤ 関根建二委員(社会)から、静内、中札内間の路線計画に関し、現在までの経過と進捗状況、環境影響評価についての道の今後の手続き、評価を国立公園の指定後とすることの必要性、環境保全に対する考え方について質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。

## 石油緊急対策特別委員会

○2月4日（月） 午後零時14分、第1委員会室  
において開議、午後1時18分  
散会

委員長 高橋 賢一（自民）

- ① 商工観光部長及び生活環境部長から、最近の石油をめぐる諸情勢と道の対策について報告の後、

保格博夫委員（社会）から、小売価格の値上げに対する指導状況、灯油の標準価格設定についての道の国への対処方針、灯油の備蓄増の実態と価格との関連性、アラブ石油の安売りと系列化に対する考え方

川崎守委員（共産）から、灯油価格についての国の指導実態、漁業用燃油の値上り状況と漁業への影響、元売りの決算内容に対する見解、A重油の価格の妥当性とC重油の実態、産業用燃油対策

工藤万砂美委員（自民）から、原油2ドル値上げに伴う小売価格の値上げ幅、小売業者の自己試算による値上げに対する見解

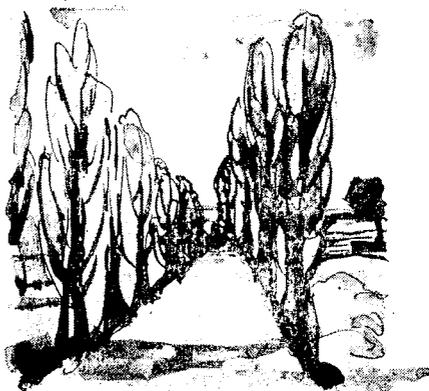
武部勤委員（自民）から、石油依存度減少のための道の対策、ローカルエネルギーの開発利用に対する取り組み方について  
質疑及び意見があり、生活環境部長及び商工観光部長から答弁。

- ② 民生部長から、特別生活資金貸付事業の実施状況について報告の後、

保格博夫委員（社会）から、貸付制度の有効性と制度変更の考えについて  
質疑があり、民生部長から答弁。

- ③ 委員長から、さきを実施した石油類の供給、価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ④ 委員長から、道外調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。





## 全国都道府県議会議長会

○1月24日(木) 全議会議室において役員会を開催。会長(香川県議長)のあいさつに引き続き、協議に入り、昭和55年度本会予算案について、全議事務局長の説明のとおり臨時総会に提出することに決定の後、臨時総会の日程について全議事務局長説明のとおり了承。ついで、本会第2回定例総会の簡素合理化について、全議事務局長から参与会における検討結果の報告があり、三重県議長から総会終了後の視察について発言の後、事務局長の報告のとおり決定して、閉会した。

○1月24日(木) 都道府県会館別館において臨時総会を開催。会長(香川県議長)のあいさつに引き続き、来賓の自治大臣からあいさつがあった。ついで、議長に会長を選出し、協議に入り、昭和55年度本会予算について、会長及び全議事務局長から説明の後、原案のとおり決定した。ついで、全議事務局長から昭和55年度政府予算編成に対する本会等の要望運動経過、昭和55年度地方財政対策の内容及び本会重点要望事項に対する予算措置の状況について報告の後、閉会した。

## 都道府県議会議員共済会

○1月24日(木) 全議会議室において理事会を開催。会長(香川県議長)のあいさつに引き続き、協議に入り、代議員会の運営、昭和55年度事業計画及び予算(案)等について協議決定して、閉会した。

○1月24日(木) 都道府県会館別館において代議員会を開催。会長(香川県議長)のあいさつに引き続き、議事に入り、事務局長から、昭和55年度事業計画及び予算案について説明の後、異議なく原案のとおり承認。ついで、議長から、本日の理事会における共済年金制度の改善につ

いての協議結果の報告があって、閉会した。

○2月16日(土) 全議会議室において理事会を開催。会長(香川県議長)のあいさつの後、議員共済年金制度の改善等について協議し、閉会した。

## 10都道府県議会議長会

○1月30日(水) 京都市において開催。地元京都府議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、愛知県議長から、前回議決事項の処理報告の後、次の事項について協議、決定した。ついで、全議事務局長から昭和55年度地方財政計画、地方公共団体における行政改革の推進及び内閣提出予定法律案件等について説明の後、次回開催地を大阪府に決定して、閉会した。

- 1 水の循環利用に関する法制度等の整備について
- 2 救急医療体制の整備について
- 3 エネルギー対策の推進について
- 4 家庭用灯油等に対する対策について
- 5 下水道の整備促進について
- 6 新産業都市の建設及び工業整備特別地域の整備にかかる国の財政上の特別措置の延長について
- 7 公共料金対策について
- 8 普通交付税の精算減額に対する財源確保対策について
- 9 省エネルギーと新幹線交通体系の整備について

# 資 料

## 提出案件の処理状況 … 昭和54年中（第1回臨時会以降）…

### 知事提出案件

定例 の別 臨時	提出件数					処理状況							
	条例案	予算	その他の議案	報告	計	原案可決	同意決	承認決	認定決	意見を付し 認定決	報告の 審み	継続 審査	計
1 臨	1	—	14	3	18	13	2	1	—	—	2	—	18
2 定	7	12	20	26	65	37	2	—	—	—	19	7	65
3 定	6	3	15	2	26	20	4	1	(2)	(5)	1	—	26(7)
4 定	10	20	10	4	44	39	1	—	—	—	3	1	44
合計	24	35	59	35	153	109	9	2	(2)	(5)	25	8	153(7)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

### 議員提出案件

定例 の別 臨時	提出件数					処理状況		
	決議案	意見案	修正動議	その他 動議	計	原案可決	否決	計
1 臨	5	—	—	—	5	5	—	5
2 定	1	8	1	—	10	9	1	10
3 定	—	6	1	—	7	6	1	7
4 定	—	3	—	1	4	3	1	4
合計	6	17	2	1	26	23	3	26

## 請願及び陳情の処理状況 … 昭和54年中（第2回定例会以降）…

定例 の別 臨時	請 願						陳 情			
	受理件数	採 択	一部採択	取 下 げ	継続審査	計	受理件数	採 択	継続審査	計
2 定	17	2	—	—	15	17	5	—	5	5
3 定	7	—	—	1	21	22	3	1	7	8
4 定	12	3	1	—	29	33	2	1	8	9
合計	36	5	1	1			10	2		

注 継続審査及び計欄の数値は、前会から継続審査中のものであって更に継続審査の決定をされものを含む。

議員提出案件の件名及び処理結果一覧 … 昭和54年中（第1回臨時会以降）…

決 議 案

定例臨時の別	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
1 臨	1	総合開発調査特別委員会設置に関する決議	浅川 正敏君ほか13人	5. 11	原案可決
	2	石炭対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同
	3	北方領土対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同
	4	公害対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同
	5	有珠山噴火災害対策特別委員会設置に関する決議	同	同	同
2 定	1	石油緊急対策特別委員会設置に関する決議	吉田 政一君ほか12人	7. 24	同

意 見 案

定例臨時の別	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
2 定	1	鉄道新線建設促進に関する要望意見書	作田 政次君ほか26人	6. 30	原案可決
	2	韓国漁船に対する漁業水域法の適用に関する要望意見書	小笠原 孝君ほか12人	同	同
	3	昭和54年産生産者米価に関する要望意見書	武部 勤君ほか12人	同	同
	4	石油類の安定供給の確保と価格の抑制に関する要望意見書	池島 信吉君ほか104人	7. 13	同
	5	国鉄ローカル線の確保及び国鉄貨物取扱駅集約化の実施に関する要望意見書	伊藤 知則君ほか13人	7. 24	同
	6	過疎地域対策緊急措置法の施行期間の延長に関する要望意見書	同	同	同
	7	積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度の実施期間の延長に関する要望意見書	池島 信吉君ほか12人	同	同
	8	国際児童年に関する要望意見書	伊藤 知則君ほか13人	同	同
3 定	1	昭和54年産畑作物価格等に関する要望意見書	武部 勤君ほか12人	9. 29	同
	2	北方領土問題の解決促進に関する要望意見書	北村 義和君ほか11人	10. 26	同
	3	地熱資源の開発利用促進に関する要望意見書	池島 信吉君ほか12人	同	同
	4	昭和55年度水田利用再編対策に関する要望意見書	武部 勤君ほか12人	同	同
	5	一般消費税導入問題についての要望意見書	伊藤 知則君ほか13人	同	同
4 定	6	石炭鉱業安定のための需要確保等に関する要望意見書	工藤万砂美君ほか14人	同	同
	1	義務教育諸学校の児童生徒に対する教科用図書無償給与制度の存続に関する要望意見書	熊谷 克治君ほか12人	12. 22	同
	2	過疎地域振興のための新法制定促進に関する要望意見書	伊藤 知則君ほか13人	同	同
	3	電気料金改定に関する要望意見書	池島 信吉君ほか12人	同	同

修 正 動 議

定例臨時の別	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
2 定	議案第1号（昭和54年度北海道一般会計補正予算(第1号)）に対する修正動議	吉田 英治君ほか34人	7. 24	否 決
3 定	議案第1号（昭和54年度北海道一般会計補正予算(第3号)）に対する修正動議	岡本栄太郎君ほか33人	10. 26	同

そ の 他 の 動 議

定例臨時の別	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
4 定	議案第1号（昭和54年度北海道一般会計補正予算(第4号)）については撤回し、組替えのうえ再提出を求めるの動議	岩崎 守男君ほか35人	12. 22	否 決

請願・陳情の件名及び処理経過一覧 … 昭和54年中（第2回定例会以降）…

請 願

（継審＝継続審査）

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 経 過
1	苫小牧市錦岡岡地（道営住宅）の下水道整備に関する件	苫小牧市錦岡327 道営住宅6-20-7 田中 厚子	54. 6. 30	54. 6. 30	建設	2定継審 3定継審 4定継審
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	札幌市南区澄川4条5丁目 無認可保育所北海道連絡会 代表 杉目 裕子	54. 6. 30	54. 7. 6	厚生	2定継審 3定継審 4定継審
3	旧釧路第一高校を道立高校として再建する件	釧路市愛国37番地 愛国連絡協議会 会長 横沢 謙三	54. 6. 30	54. 7. 6	文教林務	2定継審 3定継審 2定採択
4	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	道高教組内 くらしと権利を守る諸要 求貫徹実行委員会 委員長 藤田 新一	54. 7. 4	54. 7. 13	商工労働	2定採択
5	同	同	54. 7. 4	54. 7. 13	厚生	2定継審 3定継審 4定継審
6	札幌市民生活協同組合の留萌市出店反対の件	留萌市商店街振興組合連合 会 理事長 佐藤 広義 ほか2人	54. 7. 6	54. 7. 13	同	2定継審 3定継審 4定継審
7	生活協同組合市民生協が提出した店舗建設の建築確認申請書の取扱に関する件	同	54. 7. 6	54. 7. 13	建設	2定継審 3定継審 4定継審
8	道立病院の拡充強化を求める件	自治労全北海道庁労働組合 中央執行委員長 北村 英人	54. 7. 6	54. 7. 13	厚生	2定継審 3定継審 4定継審
9	伏古3条4丁目交差点の信号機早期設置の件	札幌市東区伏古6条5丁目 1番地 伏古地区信号機を求める 会 代表 今本 一雄	54. 7. 7	54. 7. 13	総務	2定継審 3定継審 4定継審
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	札幌市白石区青葉町6丁目 厚別地区に公立普通高校 の新設を求める会 代表 熊 敏彦	54. 7. 9	54. 7. 13	文教林務	2定継審 3定継審 4定継審
11	積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度延長の件	全日本自由労働組合北海道 地方本部内 地元で働く仕 事と90日支給復活を要求す る北海道連絡会 代表委員 山科 喜一	54. 7. 9	54. 7. 13	商工労働	2定採択
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	豊頃町長 神田 貞雄 ほか3人	54. 7. 11	54. 7. 13	文教林務	2定継審 3定継審 4定継審
13	月寒、精進川保健保全林整備に関する件	札幌市中央区北1条西7丁 目 広井ビル 北海道自然保護協会 会長 石川俊夫ほか2人	54. 7. 16	54. 7. 23	同	2定継審 3定継審 4定継審
14	道立普通科高校の設置に関する件	標茶町長 阿部 悟郎 ほか2人	54. 7. 20	54. 7. 23	同	2定継審 3定継審 4定継審
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	札幌市北区北6条西6丁目 田辺ビル 北海道学生自治会連合 代表 西岡 誠	54. 7. 21	54. 7. 24	総務	2定継審 3定継審 4定継審
16	道内における学生生活の条件改善に関する件	同	54. 7. 21	54. 7. 24	厚生	2定継審 3定継審 4定継審
17	同	同	54. 7. 21	54. 7. 24	文教林務	2定継審 3定継審 4定継審
18	「農業振興地域整備に関する法律」第8条の規定により設定された農用地区域の一部除外の取扱に関する件	札幌市西区手稲前田551番 地 居住農業者代表 田中 三蔵	54. 9. 29	54. 9. 29	農務	3定取下
19	養護学校高等部間口増に関する件	肢体不自由児を守る札幌父 母の会 代表 藤谷 瑠美子	54. 9. 29	54. 9. 29	文教林務	3定継審 4定継審
20	道立釧路養護学校の通学バスの増車を求める件	釧路心身障害者団体連絡協 議会 代表 山本 武雄	54. 10. 11	54. 10. 16	同	3定継審 4定継審

文書表 番 号	件 名	請 願 者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 経 過
21	道立普通高校建設に関する件	七飯町長 金沢 精一 ほか2人	54.10.15	54.10.22	文教林務	3定継審 4定継審
22	道立石狩高等学校の間口増に関する件	石狩高等学校間口増促進期 成会 会長 岩佐 幸雄	54.10.17	54.10.22	同	3定継審 4定採択
23	国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の 確立に関する件	石狩郡石狩町花川北3条4 丁目36 北海道ウイルス性肝炎友 の会 佐藤 春男	54.10.19	54.10.22	厚生	3定継審 4定継審
24	登別市に警察署設置の件	登別市長 中浜 元三郎	54.10.22	54.10.25	総 務	3定継審 4定継審
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川 市内に設置する件	旭川市神楽岡9条4丁目 旭川肢体不自由児父母の会 会長 平山 ひろ子	54.12.11	54.12.11	文教林務	4定継審
26	水田利用再編対策実施の適正化に関する件	中富良野町西中第3 農事組合長 谷 敏雄	54.12.11	54.12.11	農 務	4定 一部採択
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、 私学教育の充実のために大幅な公費助成を求め る件	札幌市北区北6条西6丁目 第1山崎ビル 北海道私立学校教職員組合 中央執行委員長 泉 脩	54.12.11	54.12.11	文教林務	4定継審
28	美唄養護学校の機能充実の件	岩見沢市鳩が丘1丁目12の9 空知生活と健康を守る会 岩見沢障害者部 石田 ルミ江	54.12.11	54.12.11	同	4定継審
29	養護学校高等部早期開校の件	同	54.12.11	54.12.11	同	4定継審
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	白老高等学校全日制普通科 設置促進期成会 会長 高橋 辰夫	54.12.11	54.12.14	同	4定継審
31	養護学校設置に関する件	室蘭市精神薄弱者育成会 手をつなぐ親の会 会長 猪股 鉄	54.12.12	54.12.14	同	4定継審
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での 総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の 実現を求める件	苫小牧公立高校新設をすす める会 代表 平井 滉	54.12.13	54.12.18	同	4定継審
33	北海道難病センター設置の早期実現と総合的難 病対策確立の件	北海道難病団体連絡協議会 代表 伊藤 建雄	54.12.14	54.12.18	厚生	4定継審
34	農業改良普及事業の充実強化に関する件	札幌市中央区北1条西7丁目 北海道農業改良普及協会 会長 長谷川 富一	54.12.18	54.12.22	農 務	4定採択
35	看護学生の修学資金増額等に関する件	札幌市北区北6条西6丁目 全日本看護学生自治会連合 北海道ブロック 北海道地方学生寮自治会 連合 代表 斎藤 清美	54.12.19	54.12.22	厚生	4定継審
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める 件	北海道教育大学札幌分校 学生自治会 執行委員長 佐藤 雅裕	54.12.19	54.12.22	文教林務	4定継審

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	受 理 年 月 日	付 託 年 月 日	付 託 委 員 会	審 査 の 経 過
1	小樽運河とその周辺の伝統的石造建築物群の保存等に関する件	小樽市松ヶ枝2丁目5番22号 小樽運河を守る会 会長 峰山富美ほか2人	54. 7. 16	54. 7. 23	文教林務	2定継審 3定継審 4定継審
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	札幌市北区北16条西3丁目 藤女子大学文学部内 「小樽運河問題」を考える会 代表 小笠原 克	54. 7. 16	54. 7. 23	同	2定継審 3定継審 4定継審
3	同	同	54. 7. 16	54. 7. 23	建 設	2定継審 3定継審 4定継審
4	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	札幌市中央区北4条西6丁目 社会文化会館 日本婦人会議北海道本部 議長 香取 柳子	54. 7. 21	54. 7. 23	公害対策 特 別	2定継審 3定採択
5	同	同	54. 7. 21	54. 7. 23	厚 生	2定継審 3定継審 4定継審
6	道立高等学校（全日制普通科）の設置に関する件	函館潮見中学校内 函館市道立高等学校誘致促進 進期成会 会長 古川照三	54. 10. 6	54. 10. 11	文教林務	3定継審 4定継審
7	釧路村に町制施行の件	釧路郡釧路村長 高橋 睦 ほか1人	54. 10. 11	54. 10. 16	総 務	3定継審 4定採択
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	小樽臨港線整備促進期成会 会長 川合 一成	54. 10. 16	54. 10. 22	建 設	3定継審 4定継審
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	小樽市長 志村 和雄 ほか2人	54. 12. 11	54. 12. 11	同	4定継審
10	高齢者福祉事業団に対する運営費助成の件	小樽市富岡1丁目5番10号 小樽市高齢者福祉事業団 会長 阿部 亀次郎	54. 12. 19	54. 12. 22	厚 生	4定継審

## 1月のメモ

- 4日 ○カーター米大統領、ソ連がアフガニスタンに軍事介入したとして、ソ連に対するコンピューターなど近代技術の輸出全面禁止、穀物輸出の大幅削減などの報復措置を発表。駐ソ米大使召還、第2次米ソ戦略兵器制限条約（SALT II）の上院批准審議延期に続く厳しい措置。
- 6日 ○宮崎県西都市の神社参道で、つり橋が落下、初もうでの7人が死亡、15人が重軽傷。
- 7日 ○ソ連、国連緊急安全保障理事会におけるアフガニスタンへの「外国軍の即時無条件撤退」を求めた決議案に拒否権を行使。  
○インド総選挙、インディラ・ガンジー元首相のガンジー派国民会議派が、議席数の3分の2を確保。
- 9日 ○根室署と道警釧路方面本部警備課、根室市内のいわゆる「レボ船」元締ら3人を、関税法、検疫法違反の疑いで逮捕。
- 10日 ○噴火湾ホタテに安全宣言。昨年4月の原貝出荷ストップ以来9ヶ月ぶり。  
○道警捜査2課と札幌北署、鈴木前石狩町長と業者ら5人を贈収賄容疑で逮捕。
- 11日 ○政府、総合エネルギー対策推進閣僚会議で「石油消費7%節約策」を決定。  
○厚生省、食品添加物の過酸化水素に弱い発ガン性があることが判明したとして、とりあえず、可能な限り使用しないよう関係食品業界に要請。
- 13日 ○ソ連、国連安全保障理事会における対イラン制裁決議案に拒否権を行使。
- 14日 ○国連緊急特別総会、アフガニスタンへのソ連の介入問題で、「外国軍の即時無条件撤退」を求めた決議案を、賛成104、反対18、棄権18で採択。
- 17日 ○札幌国税局、55年の道内主要都市の最高宅地価格を発表。10市平均の前年比伸び率は7.1%で48年以来の高率。
- 18日 ○警視庁公安部、防衛庁の機密文書をソ連に流していた元陸上自衛隊陸将補と現職自衛隊員ら3人を自衛隊法第59条違反で逮捕。
- 日本体育協会国体委員会、64年の第44回国民体育大会の本道での開催を決定。冬、夏、秋を通した完全国体は初めて。
- 20日 ○カーター米大統領、ソ連がアフガニスタンから早期撤退しない場合、今年のモスクワ夏季オリンピックのボイコットを提唱。
- 21日 ○道開発局と道、日高中央横断道路（道道静内一中札内線）の環境影響評価で「計画地域の環境はおおむね保全される」との評価書をまとめた。
- 22日 ○ソ連最高会議幹部会、物理学者でノーベル平和賞受賞者サハロフ博士のすべての国家的榮譽をはく奪し、さらに国内追放処分。
- 24日 ○閣議、「55年度の経済見通しと経済運営の基本的態度」を正式決定。実質経済成長率4.8%（54年度実績見込み6.0%）、個人所得の伸び率7.3%（54年度6.4%）など。
- 26日 ○米国内オリンピック委員会、カーター大統領のモスクワオリンピックの会場移転延期もしくは中止の提唱を満場一致で支持することに決定。最終態度は国際オリンピック委員会の総会後に決定。
- 31日 ○大手水産会社の北商（本社東京都）カズノコの売れ行き不振で、400億円を超える負債を抱え、東京地裁に自己破産の申立て、同地裁は破産宣告を決定。  
○三重県熊野市でノイローゼ気味の農家の主人、猟銃とオノで家族や親類など7人を殺し、3人に重軽傷を負わせ、本人も銃で自殺。  
○札幌市、道教育大付属小学校の校内で、同小6年の男子が首つり自殺。

## 2月のメモ

- 1日 ○神戸地裁、49年7月の参院選で当選の糸山英太郎議員派の選挙違反事件で、近松誉了被告を「地域主宰者」と認定、37年の公選法改正で設けられた「地域主宰者」の認定は初めて。
- 通産省・資源エネルギー庁、北海道電力と沖縄電力の電気料金値上げを認可。北電は平均34.23%（申請は38.83%）の値上げで2月12日から実施。
- 政府、モスクワ・オリンピック関係閣僚会議、JOC（日本オリンピック委員会）の自主性を尊重しながらも事実上、モスクワ・オリンピックをボイコットする見解をJOCに伝達。
- 2日 ○久保田防衛庁長官、防衛庁スパイ事件で辞任。後任に細田吉蔵氏。
- 4日 ○東京高裁、43年1月の米原子力空母寄港反対闘争のいわゆる「飯田橋事件」の差し戻し審で、凶器準備集合罪の成立を認め、6被告全員の控訴を棄却し全員に有罪判決。
- 6日 ○KDD（国際電信電話会社）の保田旧社長室参与、電車に飛び込み自殺。KDD事件をめぐる自殺者は2人目。
- 小樽市議会「小樽市運河問題調査審議会条例案」の制定を求める住民直接請求により招集された臨時議会で同条例案を否決。
- 8日 ○社会保険審議会（厚相の諮問機関）厚生年金の支給開始年齢を遅らせる問題について、賛否両論を併記して答申。この外、遺族年金の改善、給付水準の見直し、加給年金の引き上げなどは妥当との答申。
- 12日 ○社会保障制度審議会（首相の諮問機関）、厚生年金の改正について答申。中心は、年金支給開始年齢の65歳引上げ問題で、雇用政策や官民格差などへの配慮に欠けており賛成できないなどの内容。
- 国際オリンピック委員会（IOC）、モスクワ・オリンピック大会を予定どおり開催することを満場一致で決定。
- 14日 ○第13回冬季オリンピック、米国ニューヨーク州レークプラシッドで開幕、25日まで。
- 18日 ○日銀、インフレ抑止に公定歩合を1%上げ7.25%に決定。19日から実施。
- 19日 ○政府、国鉄の特定地方交通線（1日平均利用人員2千人以下の線区で約4千キロ）の整理をめざす「国鉄再建特別措置法案」の今国会提出を決定。本道関係は、27線、約2千キロが対象。
- 釧路市で、個人病院が全焼、入院患者13人のうち2人が焼死、2人が負傷。
- 閣議、国内航空運賃の値上げを決定。3月1日から平均23.8%で5年半ぶりの値上げ。
- カナダ総選挙で、トルドー前首相の野党自由党が議席の過半数を獲得。
- 20日 ○厚生省、発ガン性が確認された過酸化水素の使用について新基準を告示、10月1日から適用、事実上食品添加を禁止。
- 道、55年度予算案を発表。一般会計1兆3,781億6,120万円（前年度の2定補正後比5.7%増）特別会計1,093億3,430万円（同6.5%増）
- 道、昨年11月公表した行政機構改革案の機構別実施時期を発表。対象の59ヶ所のうち総合経済研究所など28機関は55年度（年度初めは5機関）から実施予定。
- 22日 ○札幌の郷土料理店で、クマ肉のルイベを食べた客に旋毛虫「トリヒナ」による寄生虫病発生。
- 23日 ○道東地方を中心にM7.2の地震発生、釧路、根室で震度4を記録、本道太平洋沿岸に津波警報が発令されたが、とくに被害なし。
- 24日 ○警視庁、国際電信電話会社（KDD）事件で、同社前社長室長を業務上横領と関税法違反容疑で逮捕、同事件での逮捕者は初めて。
- 25日 ○法制審議会（法相の諮問機関）、「相続に関する民法改正案要綱」を答申、配偶者の法定相続分の引き上げが骨子。
- 26日 ○第1回定例道議会開会
- 道、「北海道国鉄地方交通線 対策本部」（本部長寺田副知事）を設置。

- 27日 ○道教委、56年度から始まる後期・教育5  
ヶ年計画策定のため道教育長期総合計画  
審議会に計画案づくりを諮問。
- 29日 ○韓国政府、金大中氏など緊急措置違反者  
686人の復権を発表。
- 大阪地裁、マルチ商法の被害者34人が、  
会社を相手に損害賠償を求めた集団訴訟  
で、「マルチ商法はネズミ講と大差なく、  
詐欺的な違法な勧誘方法で損害を与えて  
おり不法行為にあたる」と認定、損害賠  
償の支払いを命ずる判決。マルチ商法に  
対する判決は初めて。